
京田辺市
子ども・若者意識調査アンケート調査
報告書（抜粋版）

令和6（2024）年8月

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、また、子ども・若者育成支援施策を効果的に推進するにあたり、子ども・若者の現状と課題を的確に把握する必要があるため、「子ども・若者意識調査」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	京田辺市にお住まいの 15 歳から 39 歳の 3,000 名（無作為抽出）
調査期間	令和 6 (2024) 年 6 月 21 日 (金) ~ 令和 6 (2024) 年 7 月 12 日 (金)
調査方法	郵送による配布、Web による回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
15 歳から 39 歳	3,000 名	526 件	17.5%

4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0% とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer=いくつでも)、3 LA (3 Limited Answer=3 つまで)、5 LA (5 Limited Answer=5 つまで) と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2 番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

II 調査結果

1. 基本属性

問5 現在、あなたの暮らしの状況をどのように感じていますか。

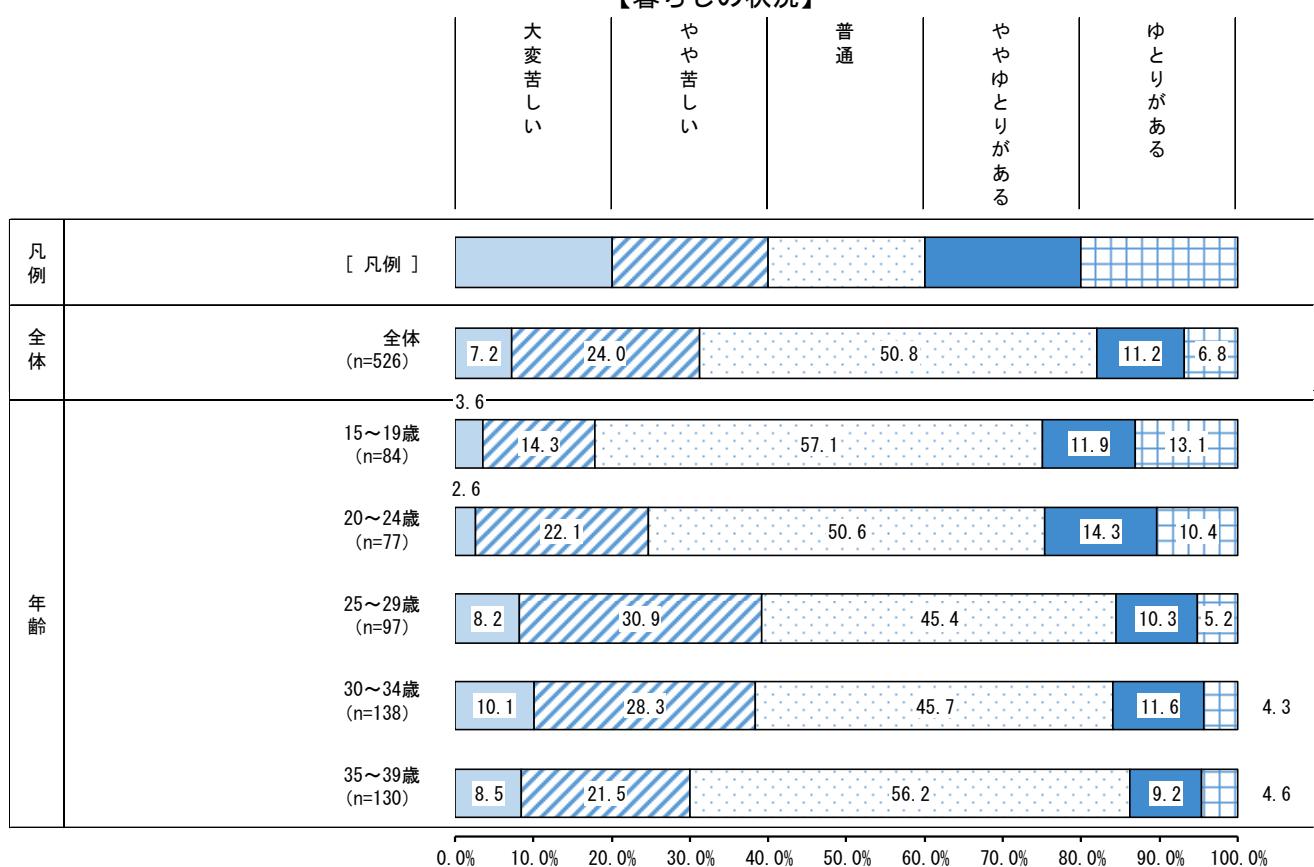
【全体】

- 暮らしの状況について、「普通」が 50.8%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 24.0%、「ややゆとりがある」が 11.2%となっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい人”は 31.2%となっています。
- 「ややゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある人”は 18.0%となっています。

【年齢】

- “苦しい人”は 25～29 歳が 39.1%、30～34 歳が 38.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【暮らしの状況】



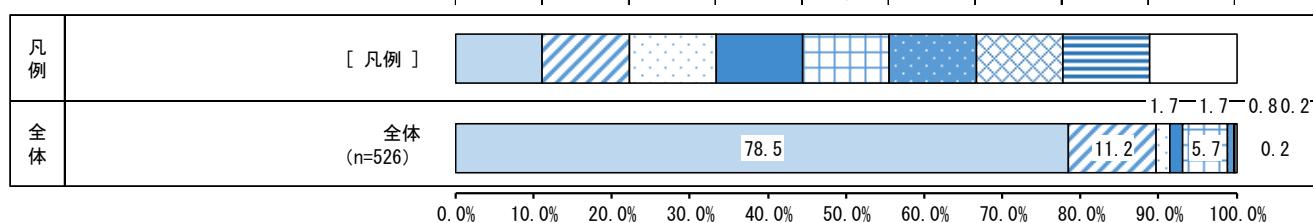
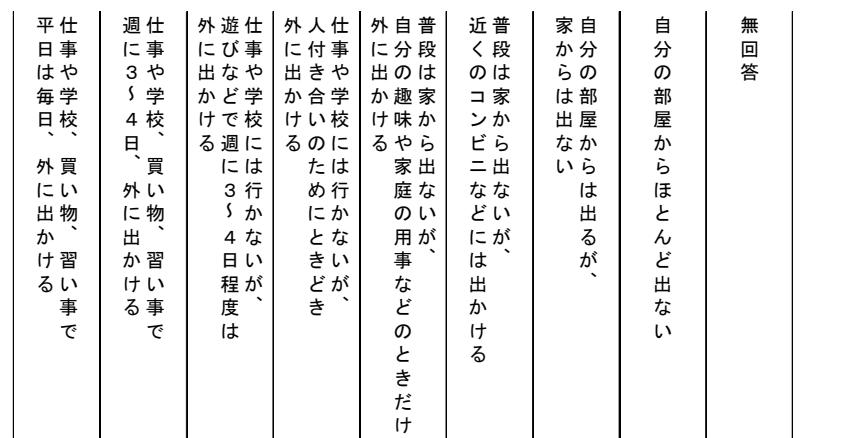
2. 生活習慣

問6 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

【全体】

- 現在の外出頻度について、「仕事や学校、買い物、習い事で平日は毎日、外に出かける」が 78.5% で最も多く、次いで「仕事や学校、買い物、習い事で週に3～4日、外に出かける」が 11.2%、「普段は家から出ないが、自分の趣味や家庭の用事などのときだけ外に出かける」が 5.7%となっています。

【現在の外出頻度】

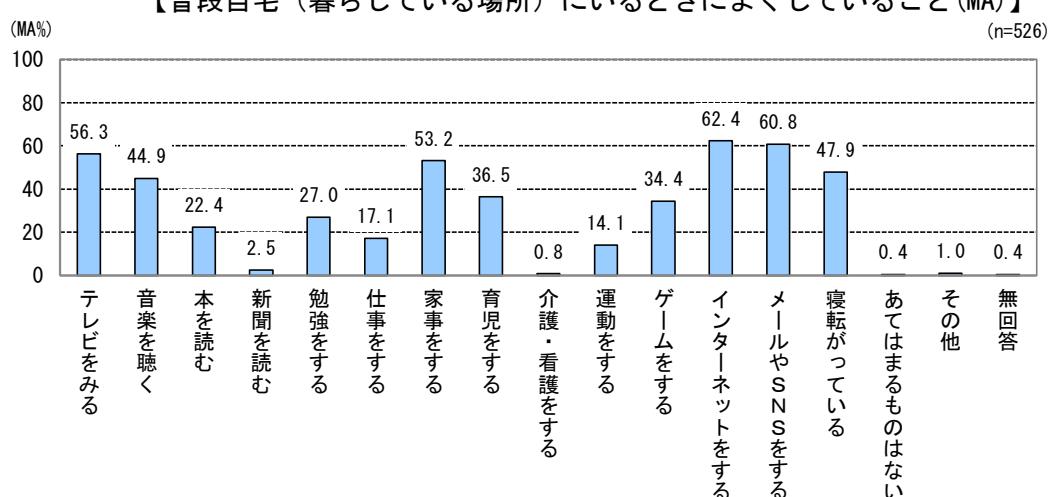


問10 あなたが普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることは何ですか。（MA）

【全体】

- 普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていることについて、「インターネットをする」が 62.4% で最も多く、次いで「メールや SNS をする」が 60.8%、「テレビを見る」が 56.3% となっています。

【普段自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていること（MA）】



3. あなた自身の現状・将来

問11 あなたが今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったことがありますか。または、現在ありますか。

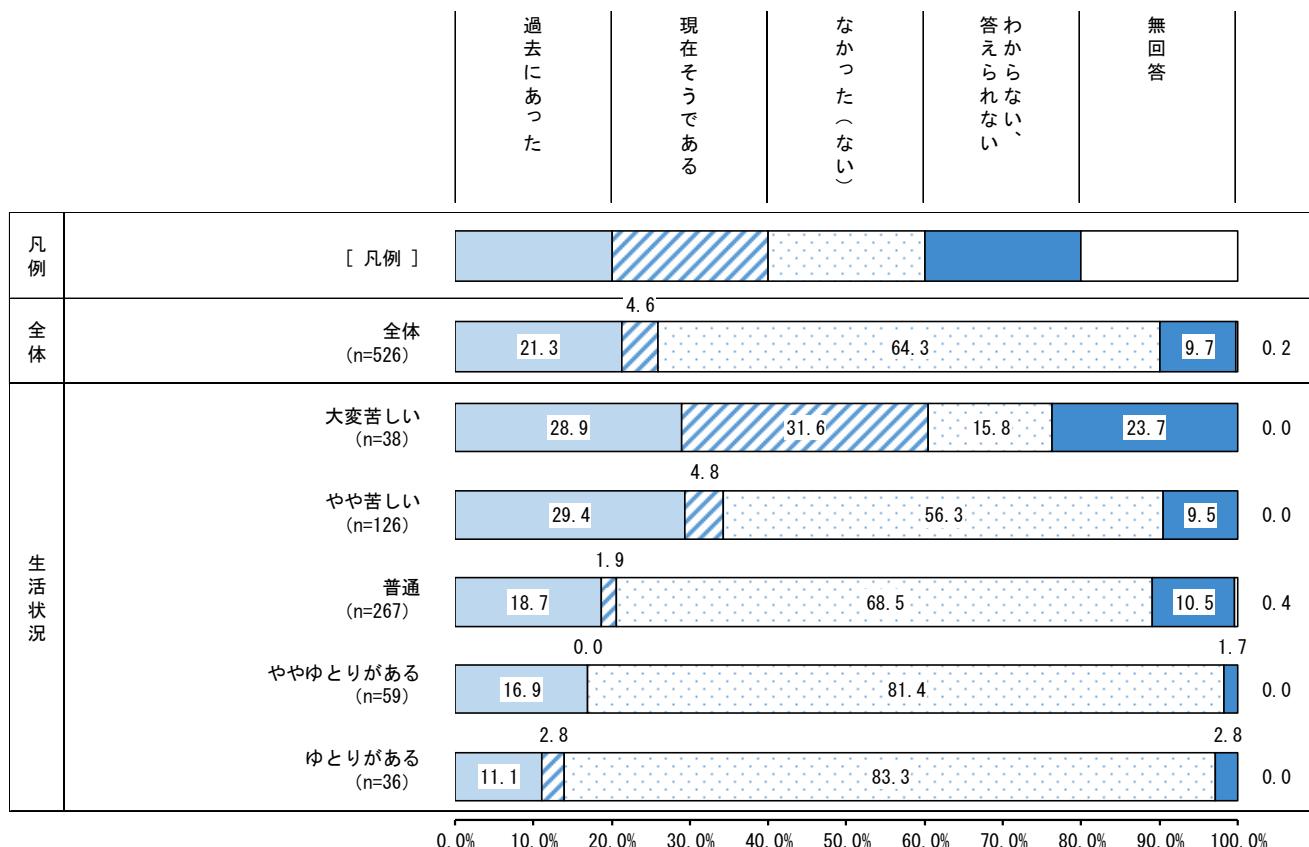
【全体】

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態について、「なかった（ない）」が 64.3%で最も多く、次いで「過去にあった」が 21.3%、「わからない、答えられない」が 9.7%となっています。

【生活状況】

- 「過去にあった」はやや苦しいが 29.4%、大変苦しいが 28.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「現在そうである」は大変苦しいが 31.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態】



問13 あなたは今、自分が幸せだと思いますか。

【全体】

- 自分が幸せだと思うについて、「そう思う」が 49.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 41.1%、「どちらかといえばそう思わない」が 6.1%となっています。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う人”は 90.7%となっています。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 9.1%となっています。

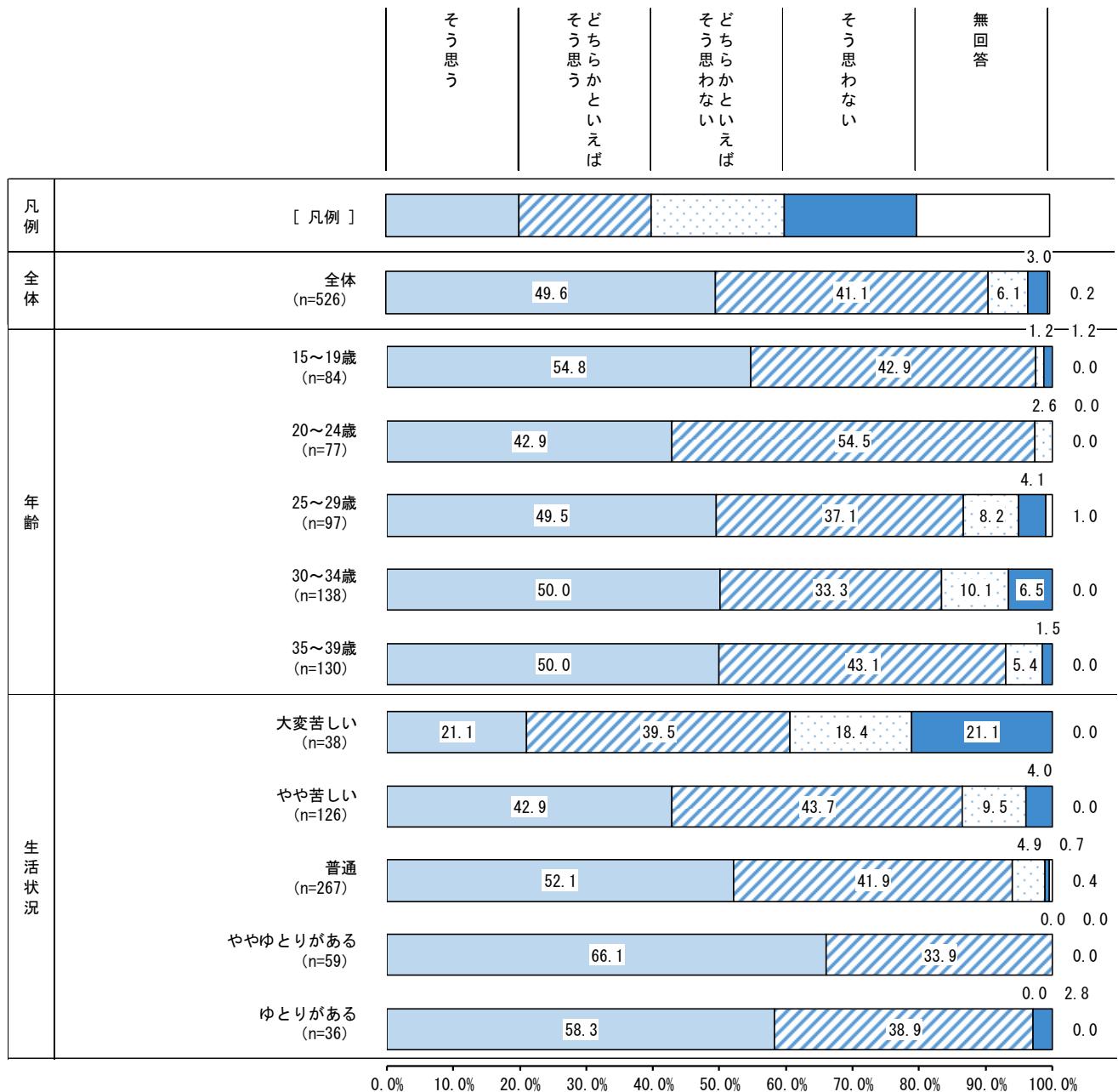
【年齢】

- “そう思わない人”は30~34歳が16.6%、25~29歳が12.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “そう思わない人”は大変苦しいが39.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分が幸せだと思います】



問14 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思っていますか。

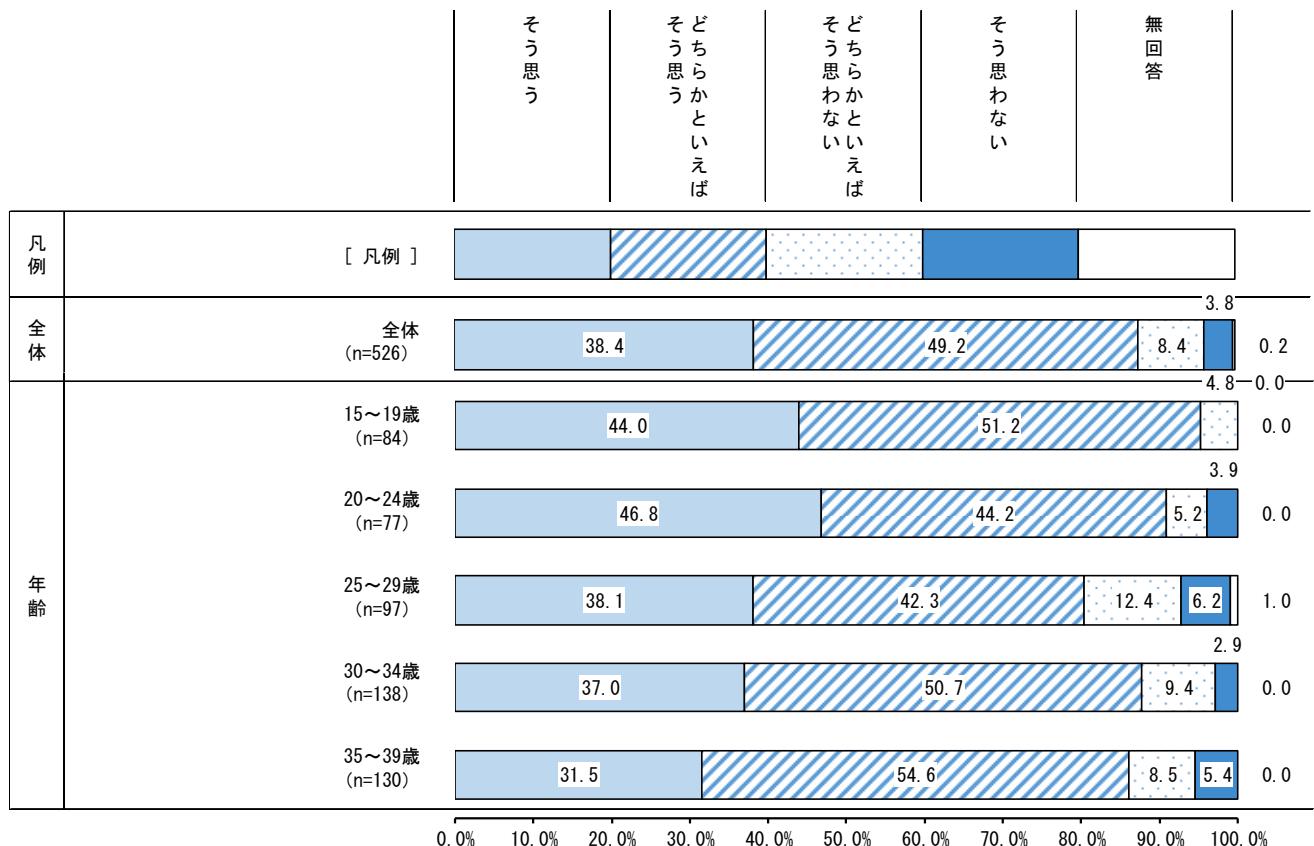
【全体】

- 「社会のために役立つことをしたい」と思うについて、「どちらかといえばそう思う」が 49.2%で最も多く、次いで「そう思う」が 38.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 8.4%となっています。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う人”は 87.6%となっています。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない人”は 12.2%となっています。

【年齢】

- “そう思わない人”は 25~29 歳が 18.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【「社会のために役立つことをしたい」と思う】



問15 あなたは、自分の将来について明るい希望がありますか。

【全体】

- 自分の将来に明るい希望があるについて、「どちらかといえば希望がある」が46.8%で最も多く、次いで「希望がある」が29.1%、「どちらかといえば希望がない」が18.3%となっています。
- 「希望がある」「どちらかといえば希望がある」を合わせた“希望がある人”は75.9%となっています。
- 「どちらかといえば希望がない」「希望がない」を合わせた“希望がない人”は24.0%となっています。

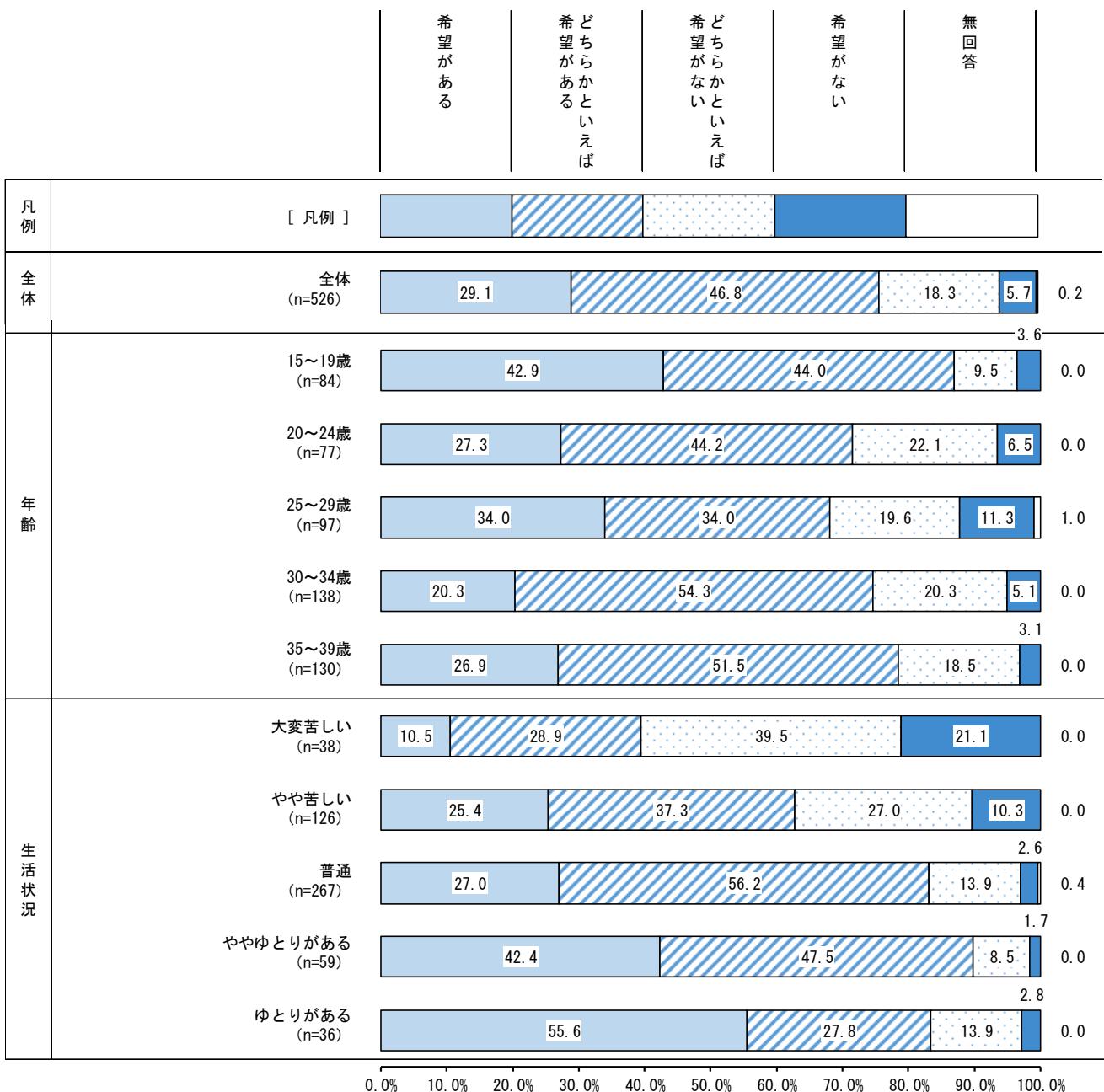
【年齢】

- “希望がある人”は15～19歳が86.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “希望がない人”は大変苦しいが60.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分の将来に明るい希望がある】

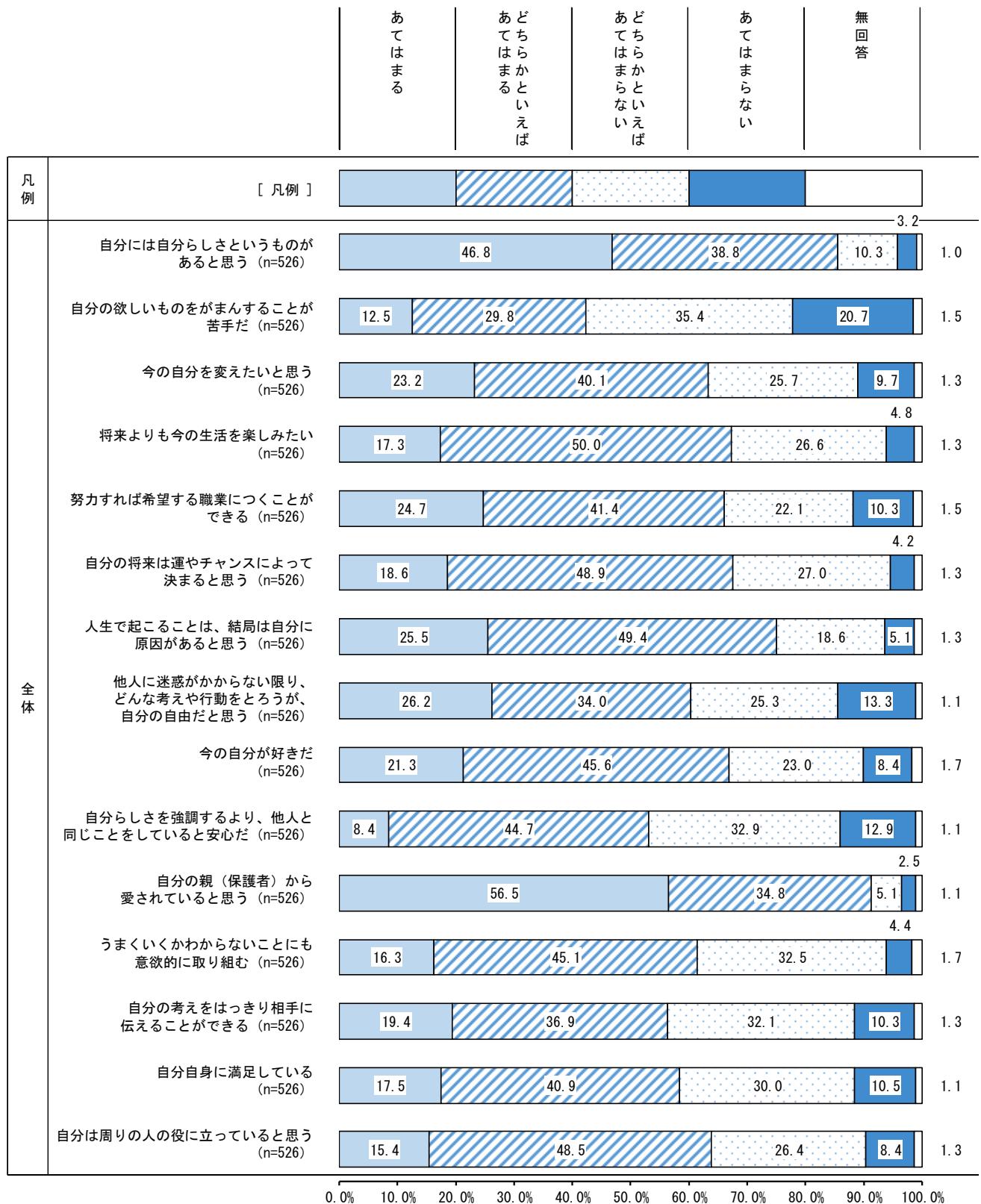


問16 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

【全体】

- あてはまることについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は自分の親（保護者）から愛されていると思うが 91.3%と他の選択肢と比べて多くなっています。
- 「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない人”は自分の欲しいものをがまんすることが苦手が 56.1%と他の選択肢と比べて多くなっています。

【あてはまること】



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

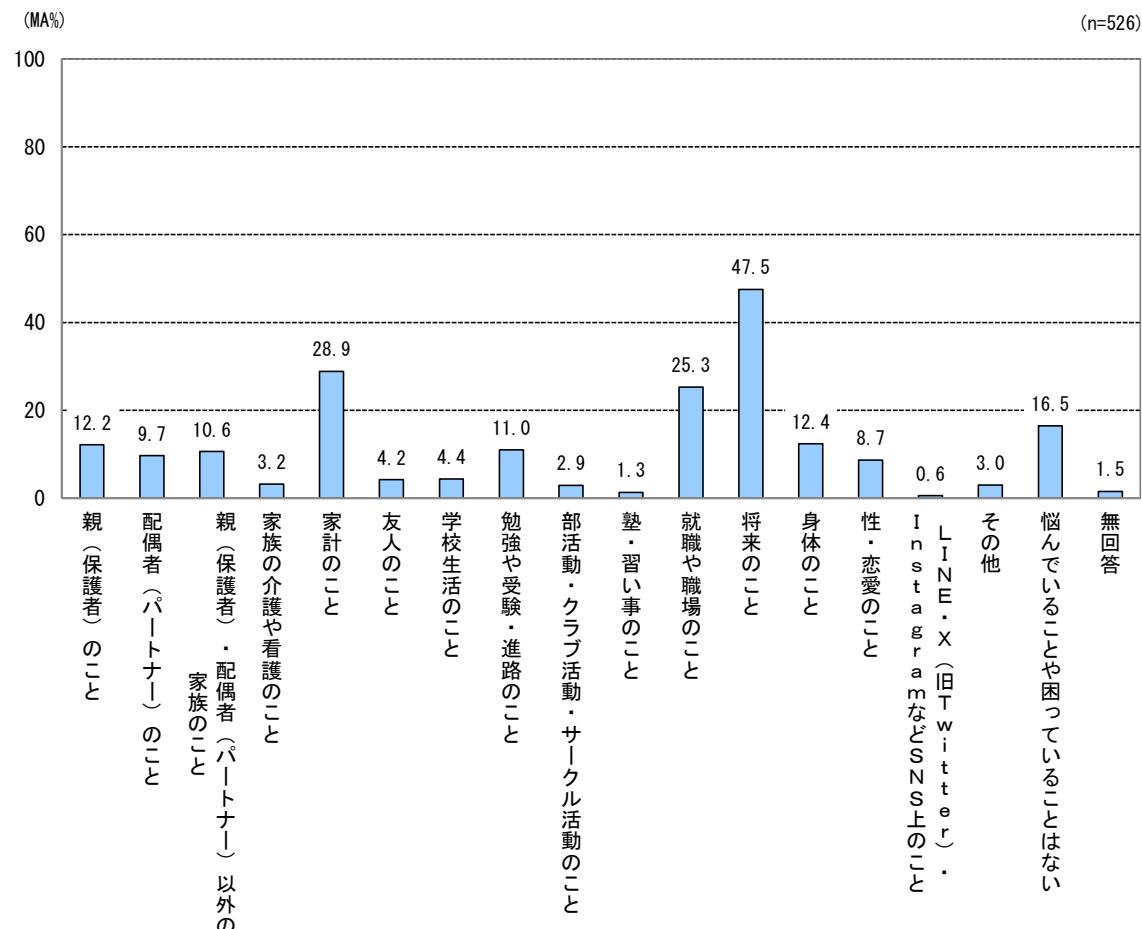
4. 悩み・相談先

問21 あなたは、今、自分自身について悩んでいることや困っていることはありますか。(MA)

【全体】

- 悩んでいることや困っていることはあるかについて、「将来のこと」が 47.5%で最も多く、次いで「家計のこと」が 28.9%、「就職や職場のこと」が 25.3%となっています。
- その他の内訳として、恋愛や結婚、子ども、地域の環境整備などが挙がっています。

【悩んでいることや困っていることはあるか(MA)】



問22（1）あなたには、困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいますか。

【全体】

- 相談したり、悩みを話せる人の有無について、「いる」が 87.5%、「いない」が 12.2%となっています。

【性別】

- 「いる」は女が 91.3%と他の区分に比べて多くなっています。

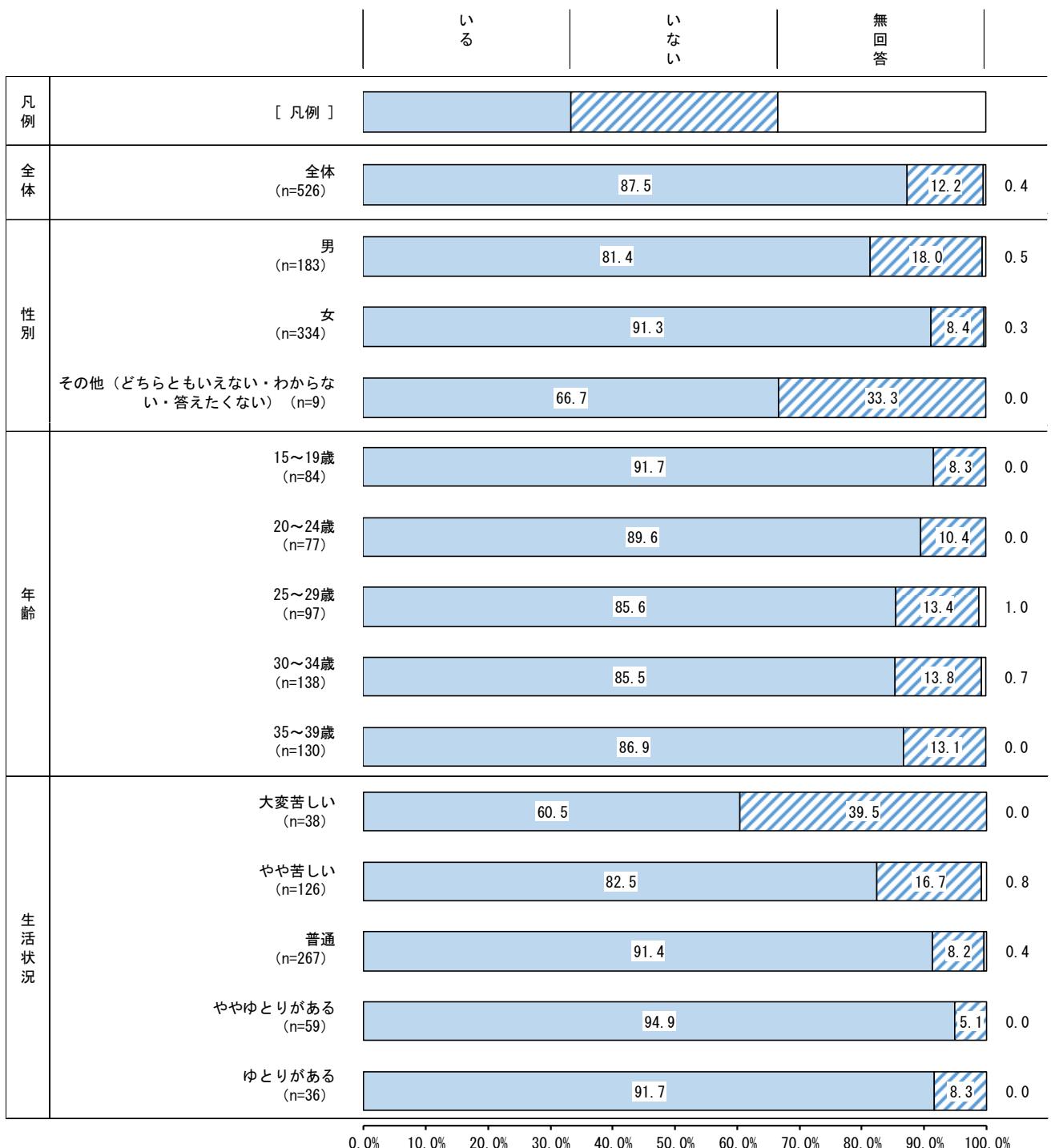
【年齢】

- 「いる」は 15～19 歳が 91.7%、20～24 歳が 89.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「いない」は大変苦しいが 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【相談したり、悩みを話せる人の有無】



問22（2）あなたには、困ったときに助けてくれる人はいますか。

【全体】

- 助けてくれる人の有無について、「いる」が 86.5%、「いない」が 13.1%となっています。

【性別】

- 「いる」は女が 92.2%と他の区分に比べて多くなっています。

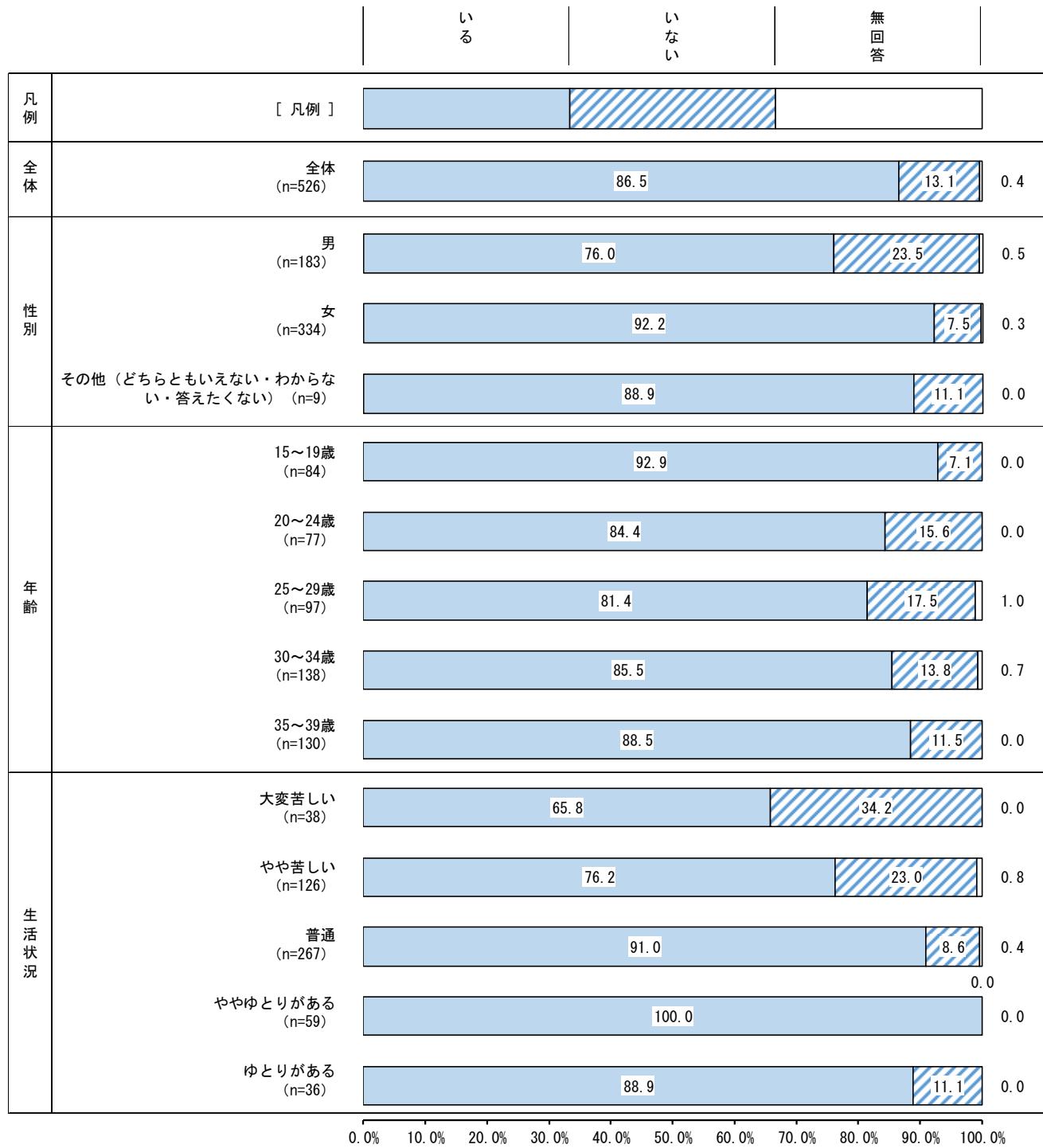
【年齢】

- 「いる」は 15～19 歳が 92.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- 「いない」は大変苦しいが 34.2%、やや苦しいが 23.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【助けてくれる人の有無】

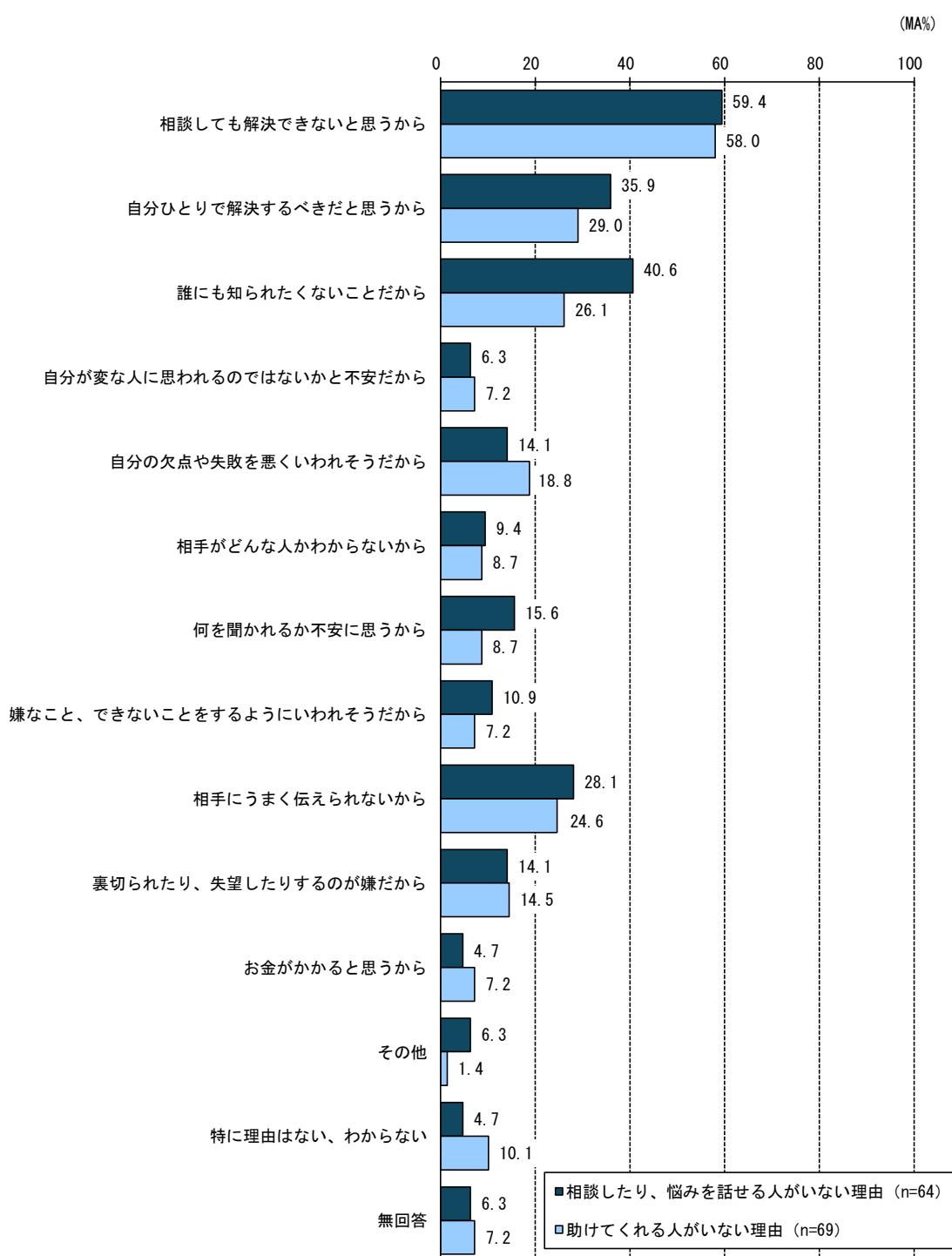


問24 相談したり、悩みを話せる人がいない理由、また、助けてくれる人がいない理由は何ですか。(問22(1)(2)のどちらかもしくはどちらともで「2. いない」を選んだ方)

【全体】

- 相談したり、悩みを話せる人がいない理由について、「相談しても解決できないと思うから」が 59.4%で最も多く、次いで「誰にも知られたくないことだから」が 40.6%、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が 35.9%となっています。
- 助けてくれる人がいない理由について、「相談しても解決できないと思うから」が 58.0%で最も多く、次いで「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が 29.0%、「誰にも知られたくないことだから」が 26.1%となっています。
- その他の内訳として、中立の立場に立つ人間がいない、当事者以外と繋がりがない、理解できるかどうかという点が不透明であるなどが挙がっています。

【相談相手・助けてくれる人がいない理由(MA)】

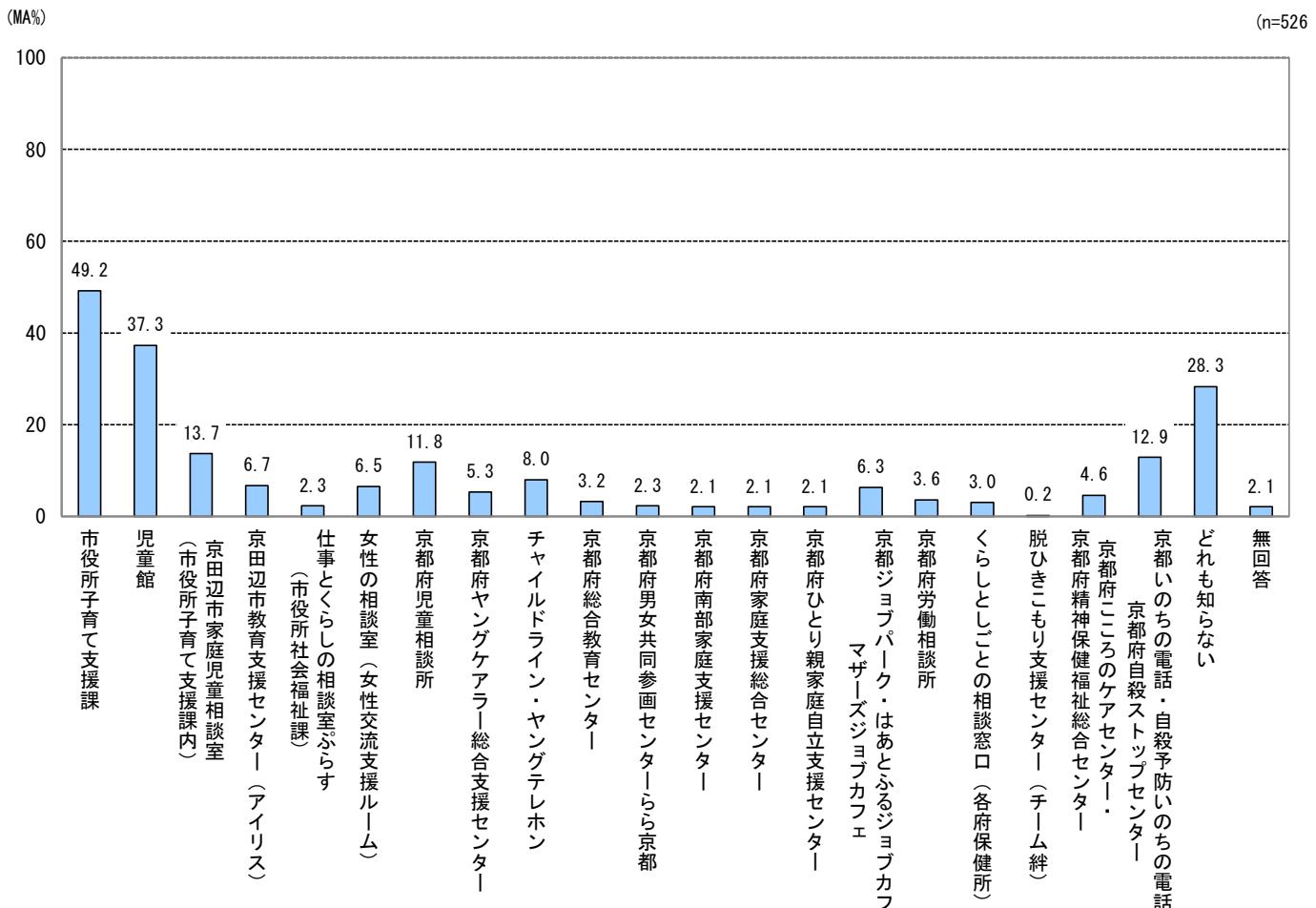


問25 京田辺市や京都府には、子ども・若者が悩みや困りごとを相談できる窓口がたくさんあります。以下の「子ども・若者の相談窓口」の中で、あなたが知っているもののはありますか。(MA)

【全体】

- 「子ども・若者の相談窓口」の認知について、「市役所子育て支援課」が 49.2%で最も多く、次いで「児童館」が 37.3%、「どれも知らない」が 28.3%となっています。

【「子ども・若者の相談窓口」の認知(MA)】



問26 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思いますか。

【全体】

- 子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思うかについて、「どちらかといえば利用したいと思う」が38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば利用したいと思わない」が27.4%、「利用したいと思わない」が18.4%となっています。
- 「利用したいと思う」「どちらかといえば利用したいと思う」を合わせた“利用したい人”は53.0%となっています。
- 「どちらかといえば利用したいと思わない」「利用したいと思わない」を合わせた“利用したくない人”は45.8%となっています。

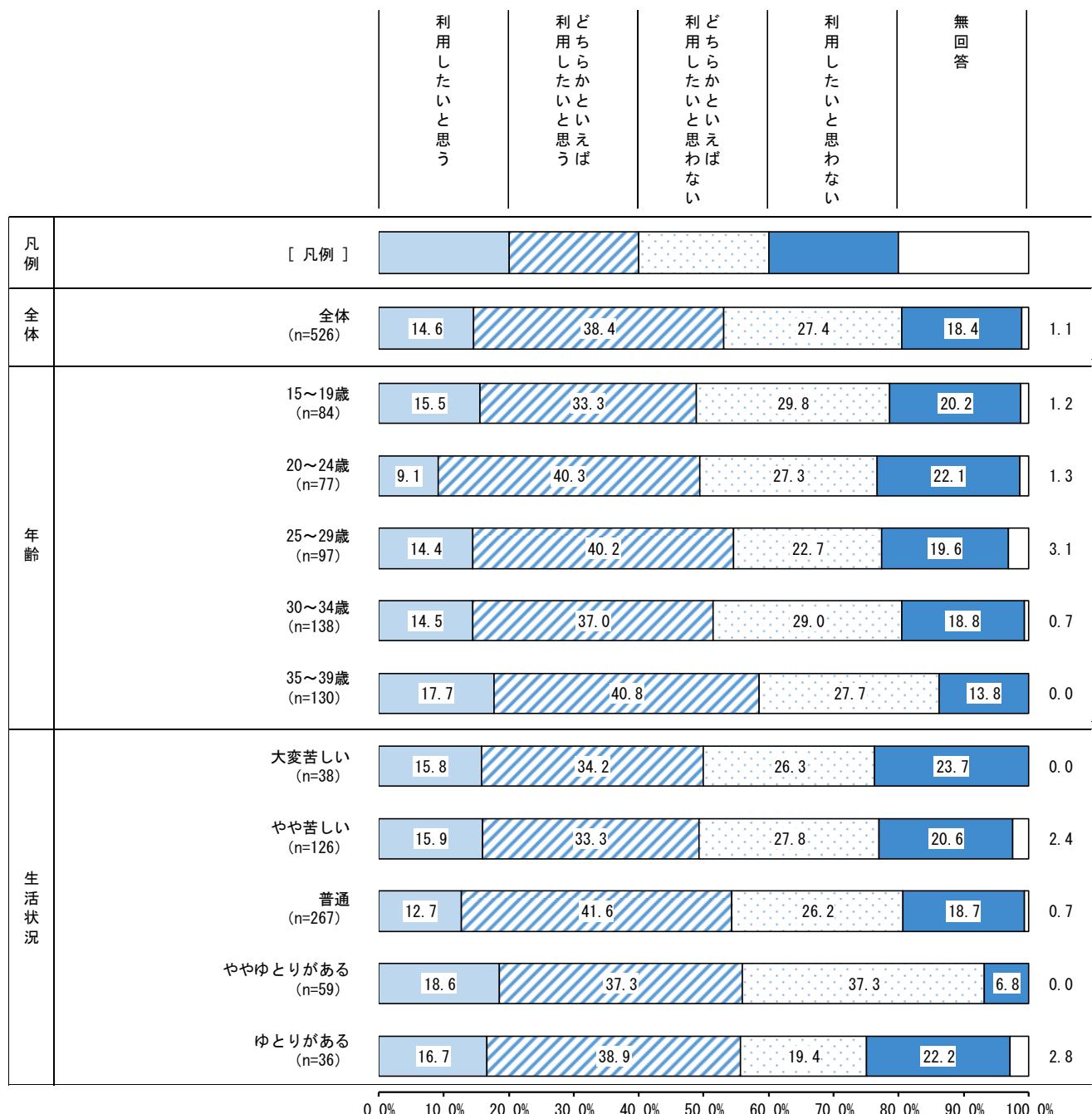
【年齢】

- “利用したい人”は35～39歳が58.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【生活状況】

- “利用したくない人”は大変苦しいが50.0%、やや苦しいが48.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思うか】

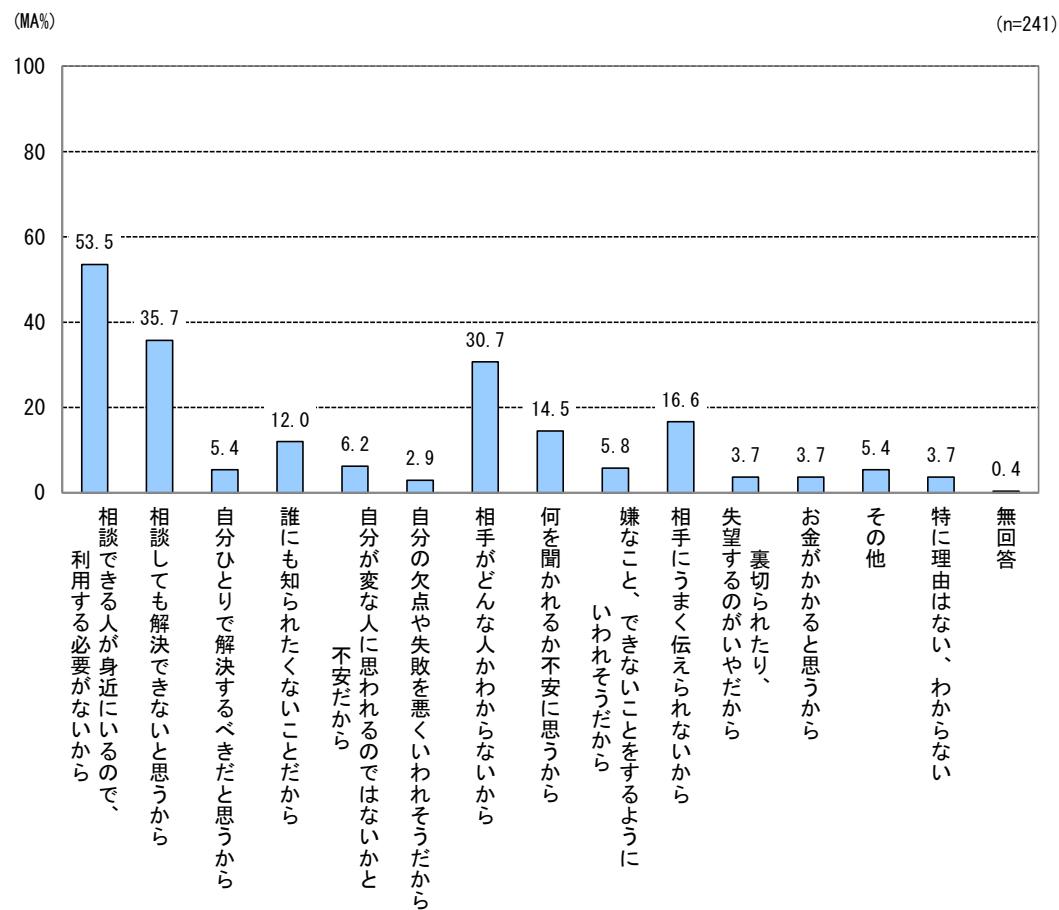


問27 あなたが、子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由は何ですか。（MA）（問26で「3. どちらかといえば利用したいと思わない」「4. 利用したいと思わない」を選んだ方）

【全体】

- 子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由について、「相談できる人が身近にいるので、利用する必要がないから」が 53.5%で最も多く、次いで「相談しても解決できないと思うから」が 35.7%、「相手がどんな人かわからないから」が 30.7%となっています。
- その他の内訳として、時間がかかる、相談窓口が空いている時間に間に合わない、面倒、抵抗感があるなどが挙がっています。

【子ども・若者の悩みや困りごとを相談できる窓口を利用したいと思わない理由(MA)】



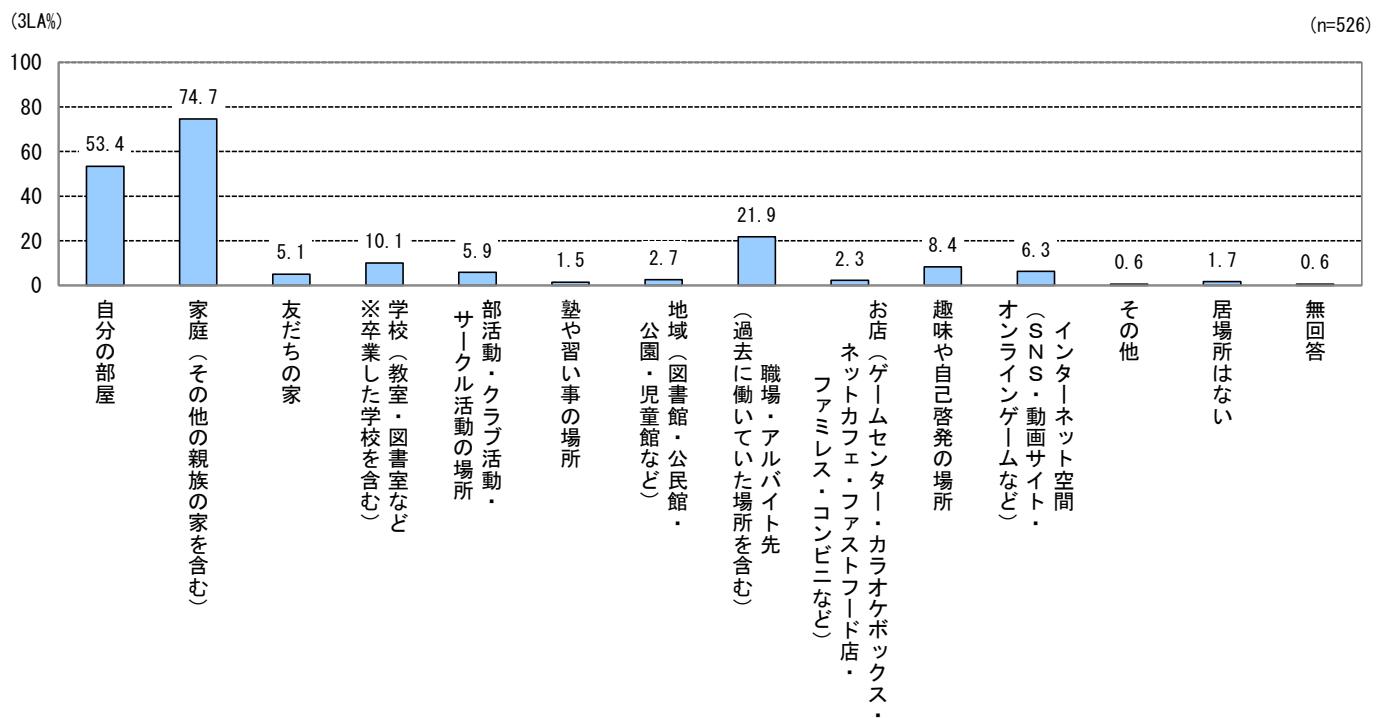
5. 求める居場所

問29 あなたにとっての「居場所」は、次のうちどこですか。（3LA）

【全体】

- あなたにとっての「居場所」について、「家庭（その他の親族の家を含む）」が74.7%で最も多く、次いで「自分の部屋」が53.4%、「職場・アルバイト先（過去に働いていた場所を含む）」が21.9%となっています。

【あなたにとっての「居場所」（3LA）】

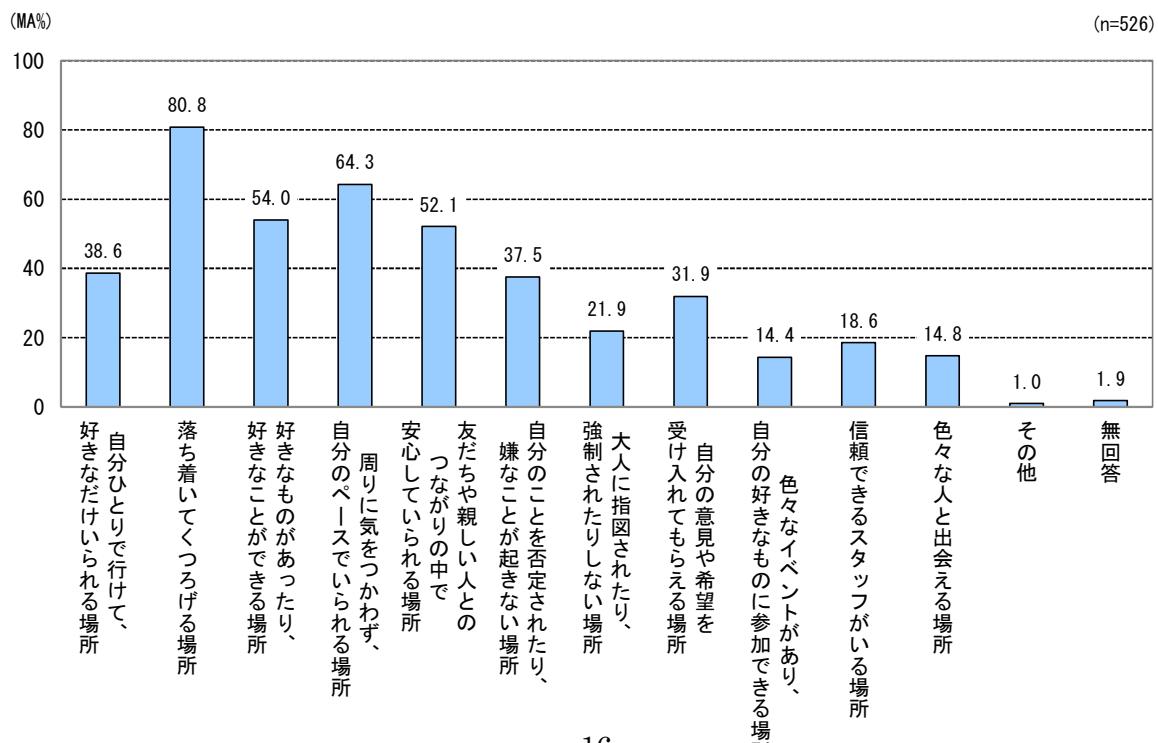


問30 あなたは、子どもや若者にとっての「居場所」とは、どんなところだと思いますか。（MA）

【全体】

- 子どもや若者にとっての「居場所」は、どんなところだと思うかについて、「落ち着いてくつろげる場所」が80.8%で最も多く、次いで「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が64.3%、「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が54.0%となっています。

【子どもや若者にとっての「居場所」は、どんなところだと思いますか（MA）】



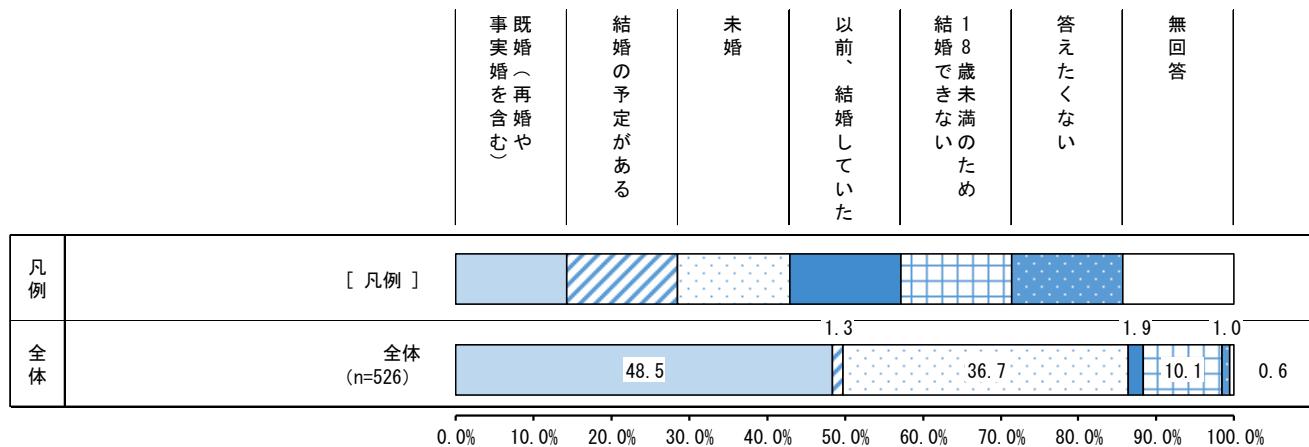
6. 結婚・出産

問31 あなたは結婚していますか。

【全体】

- 結婚しているかについて、「既婚（再婚や事実婚を含む）」が48.5%で最も多く、次いで「未婚」が36.7%、「18歳未満のため結婚できない」が10.1%となっています。

【結婚しているか】

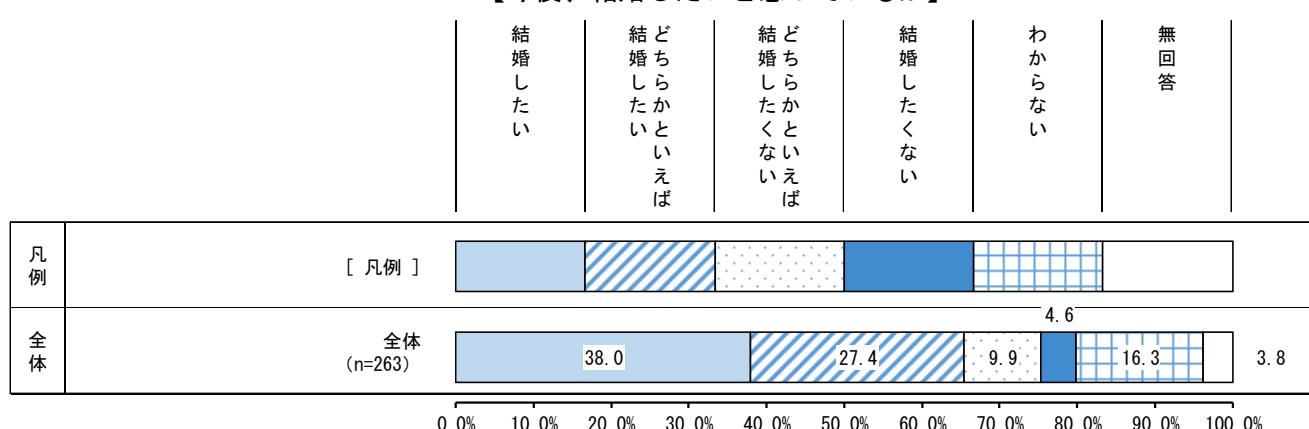


問35 あなたは今後、結婚したいと思っていますか。（18歳未満の方も含め、現在結婚していない方のみ）

【全体】

- 今後、結婚したいと思っているかについて、「結婚したい」が38.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば結婚したい」が27.4%、「わからない」が16.3%となっています。「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」を合わせた“結婚したい人”は65.4%となっています。

【今後、結婚したいと思っているか】

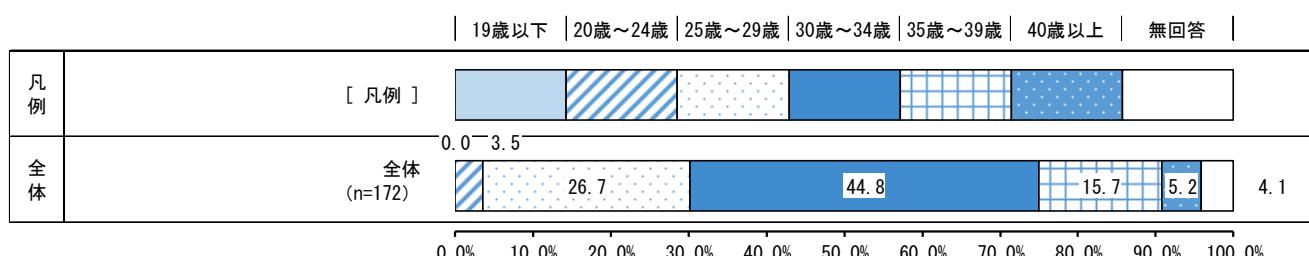


問36 あなたは、何歳くらいまでに結婚したいと思っていますか。（問35で「1. 結婚したい」「2. どちらかといえば結婚したい」を選んだ方）

【全体】

- 結婚したい年齢について、「30歳～34歳」が44.8%で最も多く、次いで「25歳～29歳」が26.7%、「35歳～39歳」が15.7%となっています。

【結婚したい年齢】



問38 あなたは今後、理想とする数のお子さんを持てると思うですか。

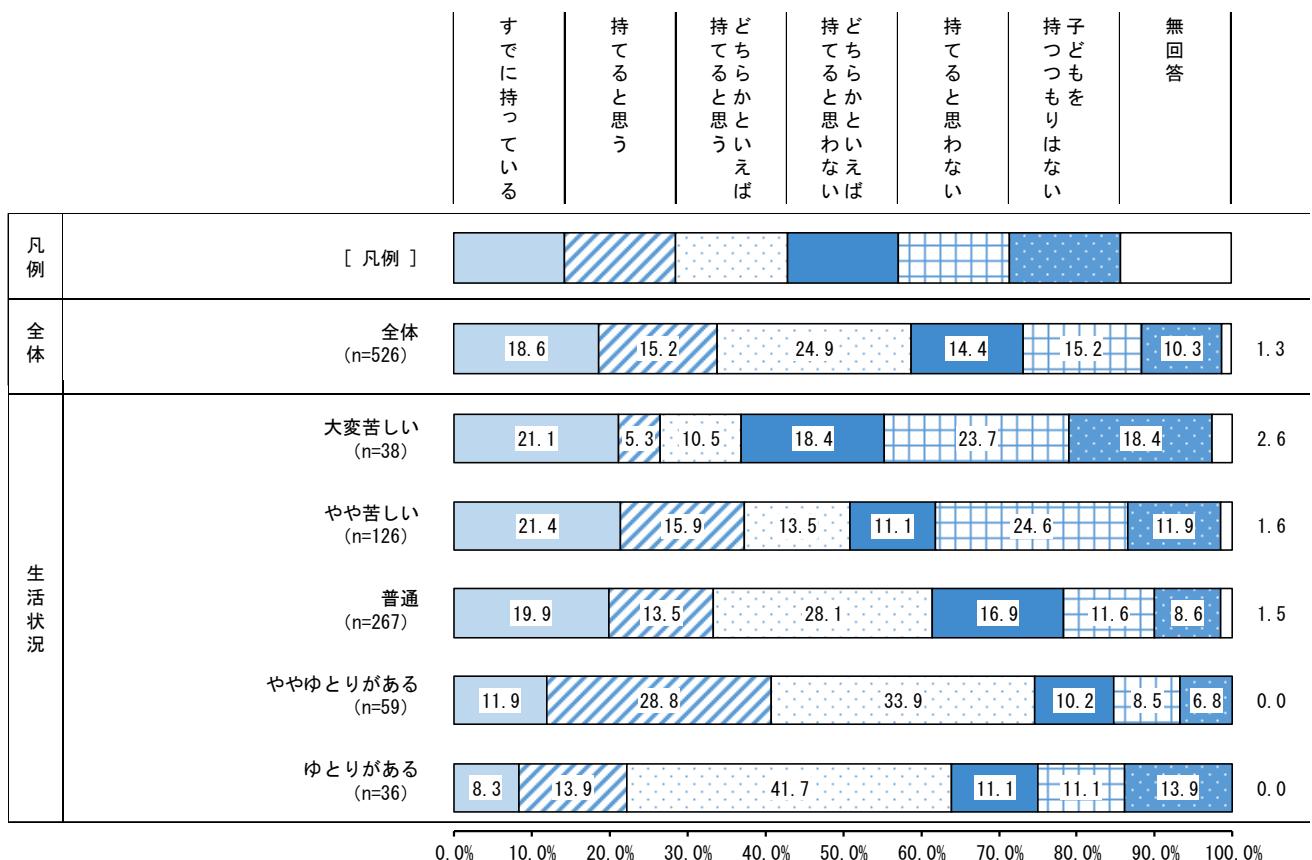
【全体】

- 理想とする子どもの人数を持つてると思うかについて、「どちらかといえば持てると思う」が 24.9%で最も多く、次いで「すでに持っている」が 18.6%、「持てると思う」「持てると思わない」が 15.2%となっています。

【生活状況】

- 「すでに持っている」はややゆとりがあるが 11.9%、ゆとりがあるが 8.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「子どもを持つつもりはない」は大変苦しいが 18.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【理想とする子どもの人数を持つてると思うか】

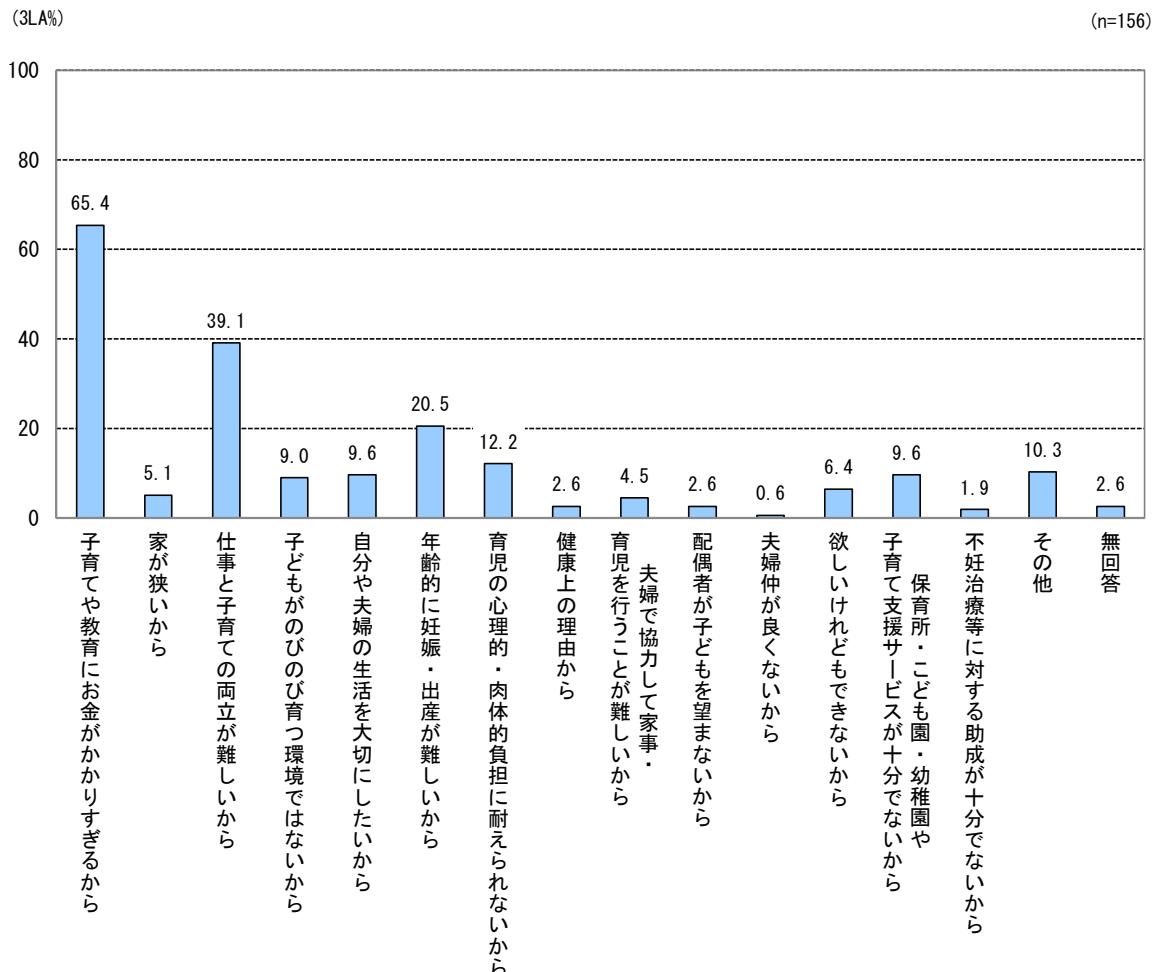


問39 理想とする数のお子さんを持つそうにないと思う理由をお答えください。（3LA）（問38で
「4. どちらかといえば持てると思わない」「5. 持てると思わない」を選んだ方）

【全体】

- 理想とする子どもの人数を持てそうにないと思う理由について、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 65.4%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」が 39.1%、「年齢的に妊娠・出産が難しいから」が 20.5%となっています。
- その他の内訳として、子どもを育てる自信がないことや、出産への不安などが挙がっています。

【理想とする子どもの人数を持てそうにないと思う理由(3LA)】

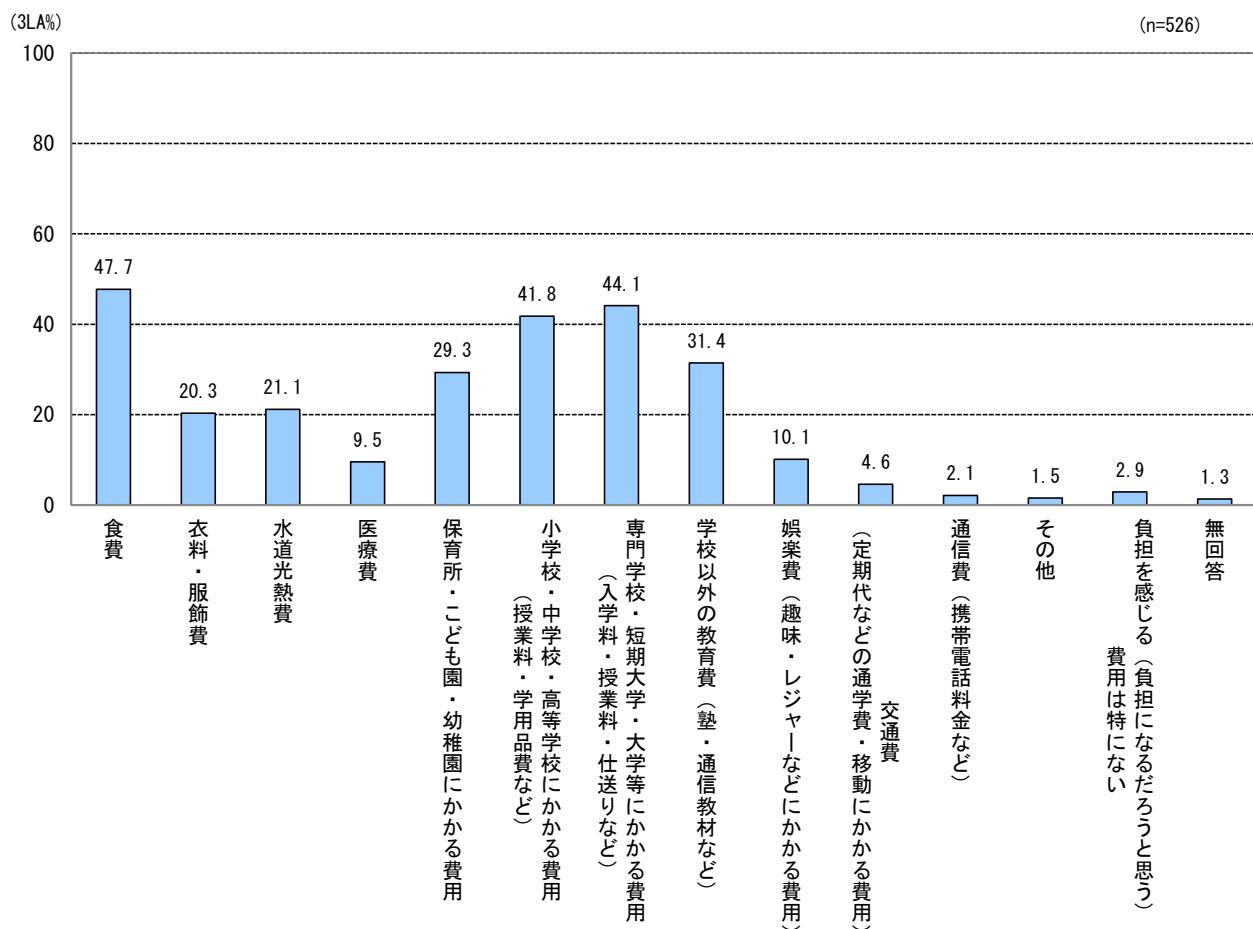


問40 子育てにかかる費用の中で、あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）費用は何ですか。（3LA）

【全体】

- あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）子育てにかかる費用について、「食費」が47.7%で最も多く、次いで「専門学校・短期大学・大学等にかかる費用（入学料・授業料・仕送りなど）」が44.1%、「小学校・中学校・高等学校にかかる費用（授業料・学用品費など）」が41.8%となっています。
- その他の内訳として、乳幼児用品や、保育料などが挙がっています。

【あなたが負担を感じている（または負担になるだろうと思う）子育てにかかる費用（3LA）】

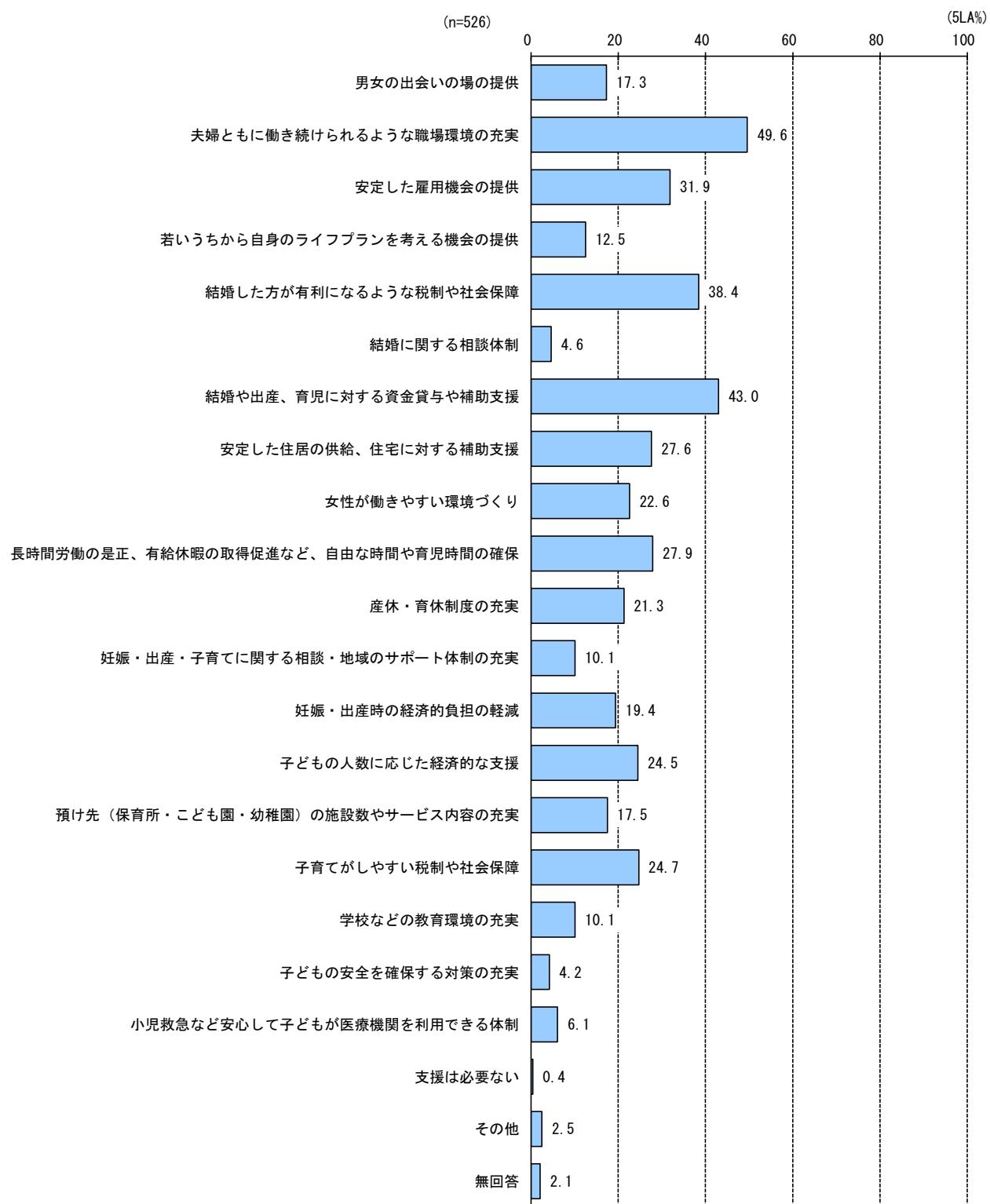


問41 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあれば良いと考えますか。（5LA）

【全体】

- 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために必要だと思うサポートについて、「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が49.6%で最も多く、次いで「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が43.0%、「結婚した方が有利になるような税制や社会保障」が38.4%となっています。
- その他の内訳として、学校行事の軽減や、男性の意識変化（働き方改革）などが挙がっています。

【結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるために必要だと思うサポート（5LA）】



7. 行政に求める施策

問42 あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。

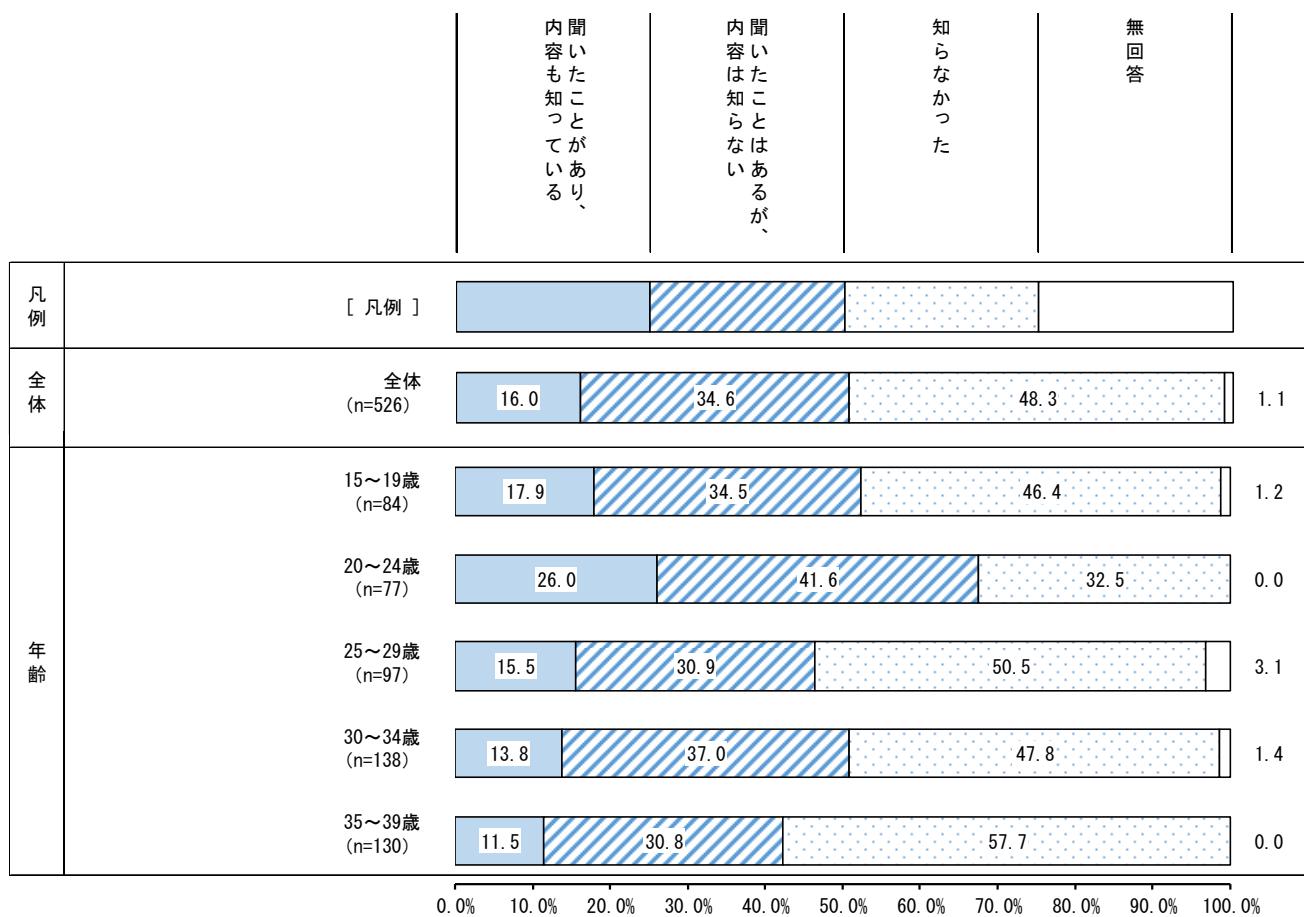
【全体】

- 子どもが意見を表明する権利の認知について、「知らなかった」が 48.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 34.6%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 16.0%となっています。

【年齢】

- 「聞いたことがあり、内容も知っている」は 20~24 歳が 26.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【子どもが意見を表明する権利の認知】

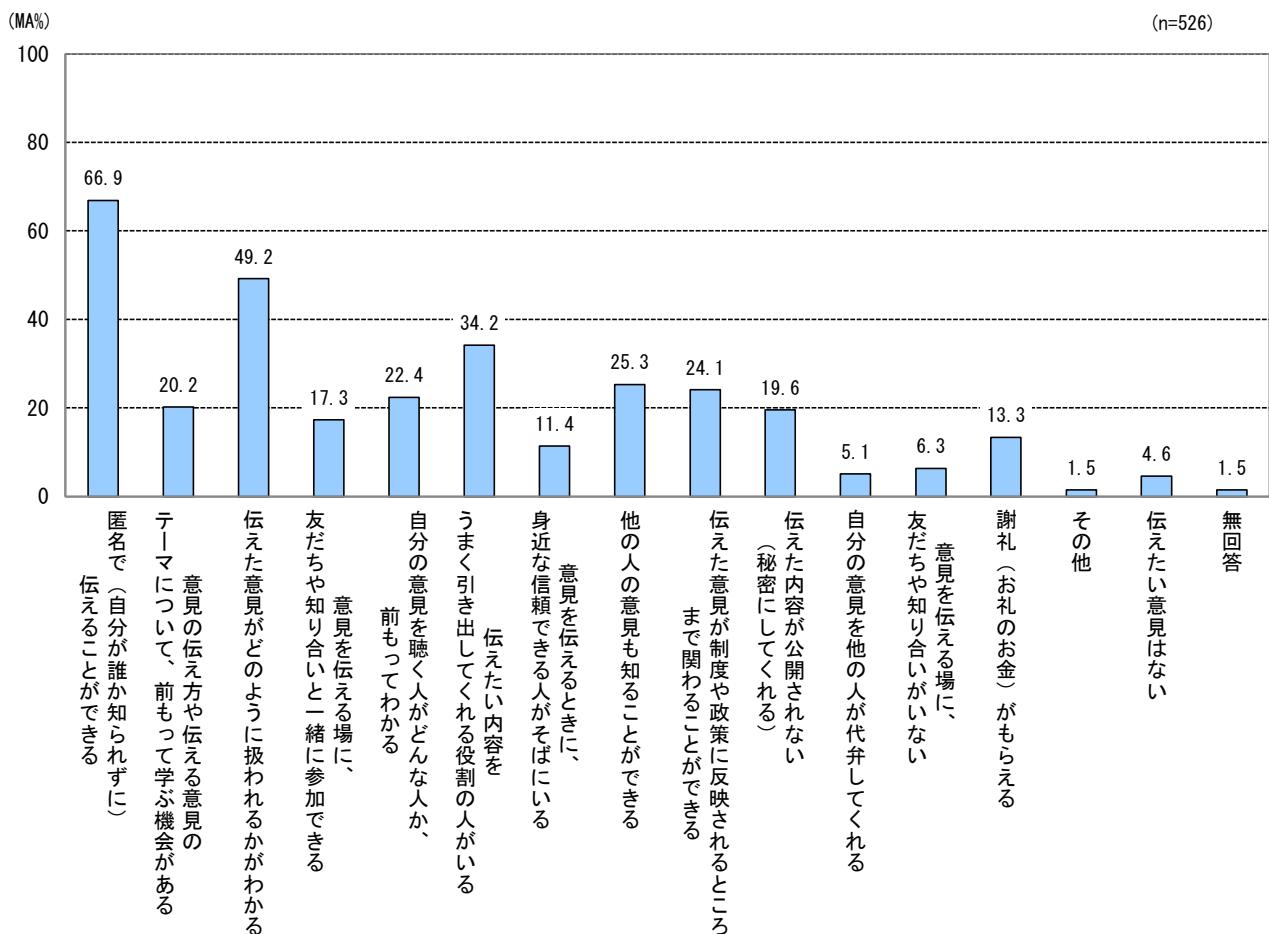


問44 あなたは、どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（MA）

【全体】

- どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいかについて、「匿名で（自分が誰か知られずに）伝えることができる」が 66.9%で最も多く、次いで「伝えられた意見がどのように扱われるかがわかる」が 49.2%、「伝えたい内容をうまく引き出してくれる役割の人がいる」が 34.2%となっています。
- その他の内訳として、行政での対応の見える化や、専門部署の設立などが挙がっています。

【どんな工夫やルールがあれば、京田辺市（市役所）に対して、自分の意見を伝えやすいか（MA）】



問46 あなたは、京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。（5LA）

【全体】

- 京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策に望むことについて、「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が 41.1%で最も多く、次いで「参加しやすいイベントなどの情報を提供する」が 37.6%、「学校教育を充実する」が 29.7%となっています。
- その他の内訳として、就業環境の整備や、学校環境の整備（マンモス化対策を含む）、保育環境の整備などが挙がっています。

【京田辺市（市役所）が取り組む若者の施策に望むこと（5LA）】

